

大学の世界展開力強化事業（平成26年度採択）事後評価結果

大 学 名	北海道大学
整理番号	r-1
事 業 名	極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 A	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
コメント	<p>本プログラムは、ロシア5大学との共同教育体制を確立するため、国際運営委員会や持続的発展研究会等の活動を強化し、地元企業などを含む地域を巻き込んだ交流を進めてきた。また、産業界との連携による就職支援や同窓会を活用した学生支援など、参加者が長期的に利用し、貢献できる体制により、極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する人材を育成することを目指し実施されたものである。</p> <p>交流プログラムでは、準備科目として北海道大学の教員がロシア5大学で実施した講義に約800名の学生が参加した結果、その後の留学生の受入人数の増加に繋がった。また、基礎・専門科目や発展科目における講義形式での概論とフィールドワークを通じて、留学先でのインターンシップや学位論文指導などの質の高い科目が実施されたことは評価できる。さらに、持続的発展研究会が主体となって学生、教職員、自治体、企業の連携を深めた点は意義深く、プログラム修了生も含めた継続的な取組のほか、交流相手先大学のニーズに対応した共同講義や集中指導を実施することで、能力の高い人材育成が行われた。</p> <p>大学の国際化と成果の普及に関しては、日露の教員による定期的なFD研修を通じて、国際教育プログラムの戦略的な運営方法や効果的な広報の在り方、財源確保の方針、魅力ある海外共同教育プログラムの構築など幅広い議論が行われ、本事業の他の採択大学との情報共有も含め、大学の国際化に寄与している。このほか、ウェブサイトやFacebook、履修ガイド作成、ニュースレター、年間レポート等の多様な手法を組み合わせることで情報公開に取り組んだ点も評価できる。</p> <p>一方で、本プログラムのテーマである環境・文化・開発を牽引する専門家という人材像を支える専門的知識とスキルについては、個別の学生評価シートにより達成度が確認されたが、プログラムの質の保証の観点から、その評価指標の有効性の検証や、語学力の伸長度合いを評価する上での外国語力基準の明確化を行うこと、あるいは、実施件数の少ないインターンシップについても、プログラムが対象とする5領域との関連性を考慮しつつ、実績を増やすための方策を検討することが望ましい。</p> <p>最後に、本事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴うプログラムを実施することで、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与していくことを期待する。</p>